【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成24年1月12日(2012.1.12)

【公開番号】特開2010-124310(P2010-124310A)
【公開日】平成22年6月3日(2010.6.3)
【年通号数】公開・登録公報2010-022
【出願番号】特願2008-296827(P2008-296827)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成23年11月18日(2011.11.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮影待機時に給電を制限して省電するための、スタンバイ状態を制御する手段を備えた被写体を撮像する撮像装置であって、
前記被写体側あるいは撮影者側に反転自在かつ前記撮像装置に対して開閉自在に設けられ、前記撮像された被写体の映像表示を行う第１の表示手段と、
前記撮像された被写体の映像表示を行う第２の表示手段と、
前記第１の表示手段が前記被写体側あるいは撮影者側に反転している反転状態を検出する反転状態検出手段と、
前記第１の表示手段が前記撮像装置に対して開閉している開閉状態を検出する開閉状態検出手段と、を有し、
前記スタンバイ状態を制御する手段が、前記反転状態検出手段および前記開閉状態検出手段からの情報により制御されるシステム制御手段と、
前記スタンバイ状態の設定または解除が手動により選択される選択手段と、
によって構成され、
前記第２の表示手段が、引き出し収納自在に構成され、前記第１の表示手段を主体に動作させる第１モードと、前記第２の表示手段を主体に動作させる第２モードとが、前記第２の表示手段の引き出し収納によって選択可能に構成されたモード選択手段を有し、
前記モード選択手段により前記第１モードに選択された状態において、前記システム制御手段により前記スタンバイ状態が制御可能に構成される一方、
前記モード選択手段により前記第２モードに選択された状態において、前記手動により選択される選択手段により前記スタンバイ状態が制御可能に構成されていることを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
請求項１に記載の撮像装置における表示手段の制御方法であって、
前記第１の表示手段を主体に動作させる第１モードにおいて、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記撮影者側に向いている正転状態が検出された際に、前記第１の表示手段を表示し、前記第２の表示手段を非表示にし、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記正転状態から、前記開閉軸

を中心に前記撮像装置の本体側に向いて閉じられた正転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段と前記第２の表示手段を共に非表示のスタンバイ状態にし、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記被写体側に向いている反転状態が検出された際に、前記第１の表示手段と前記第２の表示手段を共に表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記反転状態から、前記開閉軸を中心に前記撮像装置の本体の外側に向いて閉じられた反転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段を表示し、前記第２の表示手段を非表示にする一方、
前記第２の表示手段を主体に動作させる第２モードにおいて、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記撮影者側に向いている正転状態が検出された際に、前記第１の表示手段を非表示にし、前記第２の表示手段を表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記正転状態から、前記開閉軸を中心に前記撮像装置の本体側に向いて閉じられた正転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段を非表示にし、前記第２の表示手段を表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記被写体側に向いている反転状態が検出された際に、前記第１の表示手段と前記第２の表示手段を共に表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記反転状態から、前記開閉軸を中心に前記撮像装置の本体の外側に向いて閉じられた反転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段を非表示にし、前記第２の表示手段を表示する、
ことを特徴とする撮像装置における表示手段の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
本発明は、次の（１）及び（２）のように構成した撮像装置及び撮像装置における表示手段の制御方法を提供するものである。
（１）本発明の撮像装置は、撮影待機時に必要以外の給電を制限して省電するための、スタンバイ状態を制御する手段を備えた被写体を撮像する撮像装置であって、
前記被写体側あるいは撮影者側に反転自在かつ前記撮像装置に対して開閉自在に設けられ、前記撮像された被写体の映像表示を行う第１の表示手段と、
前記撮像された被写体の映像表示を行う第２の表示手段と、
前記第１の表示手段が前記被写体側あるいは撮影者側に反転している反転状態を検出する反転状態検出手段と、
前記第１の表示手段が前記撮像装置に対して開閉している開閉状態を検出する開閉状態検出手段と、を有し、
前記スタンバイ状態を制御する手段が、前記反転状態検出手段および前記開閉状態検出手段からの情報により制御されるシステム制御手段と、
前記スタンバイ状態の設定または解除が手動により選択される選択手段と、
によって構成され、
前記第２の表示手段が、引き出し収納自在に構成され、前記第１の表示手段を主体に動作させる第１モードと、前記第２の表示手段を主体に動作させる第２モードとが、前記第２の表示手段の引き出し収納によって選択可能に構成されたモード選択手段を有し、
前記モード選択手段により前記第１モードに選択された状態において、前記システム制御手段により前記スタンバイ状態が制御可能に構成される一方、
前記モード選択手段により前記第２モードに選択された状態において、前記手動により選択される選択手段により前記スタンバイ状態が制御可能に構成されていることを特徴とする。
（２）本発明の撮像装置における表示手段の制御方法は、上記（１）に記載の撮像装置に

おける表示手段の制御方法であって、
前記第１の表示手段を主体に動作させる第１モードにおいて、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記撮影者側に向いている正転状態が検出された際に、前記第１の表示手段を表示し、前記第２の表示手段を非表示にし、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記正転状態から、前記開閉軸を中心に前記撮像装置の本体側に向いて閉じられた正転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段と前記第２の表示手段を共に非表示のスタンバイ状態にし、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記被写体側に向いている反転状態が検出された際に、前記第１の表示手段と前記第２の表示手段を共に表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記反転状態から、前記開閉軸を中心に前記撮像装置の本体の外側に向いて閉じられた反転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段を表示し、前記第２の表示手段を非表示にする一方、
前記第２の表示手段を主体に動作させる第２モードにおいて、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記撮影者側に向いている正転状態が検出された際に、前記第１の表示手段を非表示にし、前記第２の表示手段を表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記正転状態から、前記開閉軸を中心に前記撮像装置の本体側に向いて閉じられた正転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段を非表示にし、前記第２の表示手段を表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記被写体側に向いている反転状態が検出された際に、前記第１の表示手段と前記第２の表示手段を共に表示し、
前記反転状態検出手段によって、前記第１の表示手段が前記反転状態から、前記開閉軸を中心に前記撮像装置の本体の外側に向いて閉じられた反転閉止状態が検出された際に、前記第１の表示手段を非表示にし、前記第２の表示手段を表示する、ことを特徴とする。